

治山と林道



第38回 民有林治山工事コンクール 林野庁長官賞
工事名 令和元年度 災害関連緊急治山（南谷）その4工事
施行者 株式会社 竹田組

目次

令和4年度通常総会を開催……………	1・2
県からのお知らせ	
森林整備課……………	3・4
会員コーナー	
出雲市……………	5
仁多郡森林組合……………	6・7
県の取り組み紹介	
隠岐支庁県土整備局……………	8
トピックス	
治山・林道1年目職員を紹介……………	9
森林協会からのお知らせ	
島根県知事、県議会への要望活動……………	10
令和4年度全国治山・林道コンクール……………	11・12
森林経営推進センターの取り組み……………	13～15

令和4年度通常総会を開催

令和4年7月28日、島根県林業会館において令和4年度通常総会を開催しました。

開会に当たって、楫野会長から「昨年は7月4日から13日にかけての梅雨前線豪雨災害に始まり、8月8日から9日の台風9号災害、さらには8月12日から18日にかけての豪雨災害により、島根県全域にわたって激甚な被害が発生しました。現在、治山・林道関係の災害については、早期復旧に向けて、県や市町村において復旧工事が進められているところでありますが、一日も早い復旧・復興を願っています。

このように、近年、全国各地で台風や集中豪雨による大規模自然災害が多発していますが、今後、地球温暖化の進行に伴って、災害発生の頻度が高まることが懸念されており、地形が急峻で地質の脆弱な本県においては、治山事業や森林整備事業を一層推進する必要があります。一方、人工林の多くが利用期を迎える中、島根県では循環型林業の実現に向けて、林業のコスト低減や、原木が高値で取引される環境整備、林業就業者の確保を柱にし、様々な施策が展開されています。こうした中、森林協会としては、山地災害の防止や健全で活力ある森づくりを目指し、森林や林業についての県民理解を深めるためのPR活動や林業技術の向上対策、中央協会をはじめ関係機関や団体と連携した森林・林業施策の充実・強化及び予算の確保のための要望活動、しまね森林活動サポートセンターや森林経営推進センター等県や会員から受託している業務の円滑な運営に取り組めます。」との挨拶がありました。

また、総会に先立って新型コロナウイルス感染拡大により令和2年度から中止していた森林土木事業功労者及び治山・林道コンクール表彰式を今回再開し、功労者4名、優良工事及び業務15社・団体を表彰しました。

続いて、(一社)日本治山治水協会・日本林道協会会長様、林野庁近畿中国森林管理局島根森林管理署署長様、島根県農林水産部部長様からご祝辞を頂いた後、議事に入り、提案した6議案は全て提案どおり承認されました。



楫野会長あいさつ



日本治山治水協会 津元専務あいさつ



功労者表彰



工事コンクール表彰

令和4年度 協会長表彰受賞者

(1) 森林土木事業功労者

(敬称略)

所 属	氏 名	備考
松江市	松尾 俊明	
松江市	田中 亮	
邑南町	小笠原 清	
江津市	佐々木 久	

(2) 治山・林道コンクール

① 治山工事コンクール

工事名	施工場所	受賞者 (代表者)	備考
令和元年度(補正分) 緊急予防治山事業(中竹矢) 山腹工事	松江市竹矢町地内	アサヒ工業株式会社 代表取締役 實重 正樹	
令和2年度 水源森林再生対策事業(尾原地区4工区) 溪間工事	雲南市木次町平田地内	株式会社 スヤマ産業 代表取締役 陶山 顕吉	
令和2年度 復旧治山事業(北浜東1工区) 山腹工事	出雲市十六島町地内外	有限会社 曾田重機 代表取締役 曾田 満	
令和2年度 緊急予防治山事業 金洞寺地区 山腹工事	邑智郡美郷町都賀本郷地内	株式会社 オーサン 代表取締役 甚田 尚	
令和2年度 林地荒廃防止事業 寺の沖地区 山腹工事	浜田市旭町都川地内	株式会社 島根三友 代表取締役 中村 剛	
令和2年度 復旧治山事業 名賀川地区 (白井シャンシャン2工区) 工事	鹿足郡津和野町名賀地内	徳栄建設株式会社 代表取締役 安田 徳太	
令和2年度 災害関連緊急治山事業 瀧谷地区 工事	鹿足郡津和野町瀧谷地内	前田建設有限会社 代表取締役 前田 隆雄	
令和元年度 災害関連緊急治山(南谷) その4工事	隠岐郡隠岐の島町原田地内	株式会社 竹田組 代表取締役 竹田 栄人	★

② 林道工事コンクール

工事名	施工場所	受賞者 (代表者)	備考
令和2年度 広域基幹林道整備事業 三隅線 第2工区その7 道路工事	浜田市三隅町矢原地内	河野建設株式会社 代表取締役 河野 千加子	★

③ 治山・林道木材使用工事コンクール

工事名	施工場所	受賞者 (代表者)	備考
令和2年度 海岸防災林造成事業(湊原) 森林整備工事	出雲市大社町杵築西地内	島根県出雲県土整備事務所 農林工務部 治山・林道課	★
令和2年度 広域基幹林道整備事業 金城弥栄線 第3工区その14 道路工事	浜田市弥栄町程原地内	島根県浜田県土整備事務所 農林工務部 治山・林道第一課	★

④ 林道維持管理コンクール

工事名	施工場所	受賞者 (代表者)	備考
七曲線	浜田市内村町	浜田市 市長 久保田 章市	★

⑤ 森林土木部門業務コンクール

工事名	施工場所	受賞者 (代表者)	備考
令和3年度 雲南地区 治山事業概要書作成業務	雲南市吉田町深野地内外	株式会社 日西テクノプラン 代表取締役 田中 賢一	
令和2年度 地すべり防止事業(報徳6ブロック) 測量・調査・設計等業務	出雲市河下町地内	島建コンサルタント株式会社 代表取締役 多久和 豊	

備考欄★印：中央協会推薦

県単林地崩壊防止事業の手続き簡素化について

島根県 農林水産部 森林整備課
森林基盤整備・防災対策室 治山グループ

1. はじめに

令和3年7月、8月の集中豪雨による災害では、県内各地で河川の増水や土砂流出等により道路の損壊、建物の浸水など甚大な被害が発生しました。このうち森林からの土砂流出、山腹崩壊、林道の決壊等による被害は、1,631箇所、94億円に上りました。

この災害では、人家裏での小規模な崩壊も多数発生し、その被害は221箇所、13億円に上り、これらの復旧に県単林地崩壊防止事業が活用されました。

2. 県単林地崩壊防止事業の採択状況

令和3年度及び令和4年度の2カ年で、146箇所に対し各市町村へ補助金の交付を決定し、復旧工事が進められています。

令和3年災害 県単林地崩壊防止事業 採択箇所一覧

単位：千円

市町村	安来市	松江市	雲南市	奥出雲町	飯南町	出雲市	大田市	川本町	美郷町
箇所数	10	17	72	7	6	3	2	5	2
事業費	62,300	136,279	713,849	44,080	66,656	20,540	6,936	21,553	6,591
市町村	邑南町	浜田市	江津市	津和野町	隠岐の島町	西ノ島町	海士町	計	
箇所数	3	6	3	1	4	1	4	146	
事業費	11,315	30,970	17,514	20,108	21,579	2,979	28,151	1,211,400	

3. 県単林地崩壊防止事業の改正点等

この災害に対し、早期の復旧を図るため、事業の要件の緩和と対象の拡大を行ったので紹介します。

(1) 「直接危害を及ぼす恐れのある箇所」の定義

本事業は、人命・財産等に「直接危害を及ぼす恐れのある箇所」を採択要件としていますが、現に崩壊土等が下方人家に接触し危害を与えている場合だけではなく、山腹内に崩土等が堆積し次期降雨等により下方人家等に危害を及ぼす恐れがある箇所も含まれることを明確化しました。

「次期降雨等で下方人家等に危害を及ぼす恐れがあるもの」で採択した箇所数

箇所数	市町村数
21	10

（２）事業採択審査に必要な協議資料の簡素化

本事業は、市町村から提出のあった事業費概算決定申請書により採択審査を行っていますが、事務負担軽減を目的として、本資料の簡素化を行いました。

簡素化の内容については、研修会等を通して市町村、コンサルタント等へお知らせしました。



治山・林道技術研修会の様子（R4.5 開催）

資 料	改正内容
計画書	工事の工種は主工種のみで可
付属資料	縦断図は、簡易縦断図で可とし、詳細縦断図、構造図は不用
	写真は、全景、代表写真の2枚で可とし、左右端部写真は不用

（３）応急工事の取り扱い

従来、交付決定後に着手していた土砂撤去、仮設防護柵設置等を交付決定前に着手可能としました。

また、早急に対応が必要な場合には、施行主体（市町村）から受益者等への委託も可能としました。



土砂の流出による被災状況（左）と応急工事施工後（土砂撤去）の状況（右） 飯南町

4. 復旧状況

災害復旧事業の平準化を図るため、当年災のみを対象としていた県単林地崩壊防止事業の一部を次年度予算において事業採択を行うなど計画的な復旧を行っています。

令和4年10月末時点で完了した箇所数は次のとおりです。

市 町 村	安来市	松江市	雲南市	奥出雲町	飯南町	出雲市	大田市	川本町	美郷町
箇所数	10	-	-	7	6	-	2	5	-
市 町 村	邑南町	浜田市	江津市	津和野町	隠岐の島町	西ノ島町	海士町	計	
箇所数	3	6	3	1	-	-	-	43	

中山間地における森林整備の取組について

出雲市農林水産部森林政策課

出雲市佐田町朝原で、森林・山村多面的機能発揮対策交付金を活用しながら森林整備と営農活動をしている「陣ヶ丸ファーム」の取組を紹介します。

陣ヶ丸ファームの概要

陣ヶ丸ファームは、出雲市佐田町朝原（あざばら）の寺尾集落で活動している団体です。昭和 63 年に土地改良工事の完成に伴い農業用機械の共同利用を目的に寺尾営農組合として設立し、平成 27 年に協業組合陣ヶ丸ファームとして改組しました。

構成員は寺尾集落の全 16 戸 40 名が参加し、集落の維持と農地・森林の多面的利用に取り組んでいます。



陣ヶ丸ファームの活動内容



約 5.6ha の農地で、水稻（うるち米、酒米、飼料米）やクロモジを栽培しているほか、平成 26 年度から畦畔に地被植物の種子を吹き付け、除草作業の省力化を図るとともに、令和 2 年度からは冬場の作業を確保するため竹林の整備と古い植林地の間伐や炭焼きを行っています。

小さな村人による小さな S D G s に挑戦

集落に笑顔で住み続けるための挑戦として、陣ヶ丸ファームが生産するヒノキ炭を磨き上げ高付加価値商品となるように、地元の企業と連携し、「お山のお宝炭出し大作戦の会」を結成して検討を重ねているところです。

この小さな村人の小さな S D G s 活動が、故郷の森や山、田畑を守り、子どもたちに残せる財産となるようにと願っています。



「魅山の会」活動について

仁多郡森林組合

魅山の会とは、「優良な材・人を育て、魅力ある森林・林業を育てる会」先人が植えて、育てられた山を所有し、森林・林業に興味のある方、引き継いだ山林を魅力ある山に育ててみたい方の組織です。

自分の山を何とかしたいという方の集まりになります。当組合は事務局をしています。

魅山の会は平成 28 年 3 月発足、現在の会員数 30 名、その活動について紹介します。

主な活動：会員所有林などで現地研修会（造林地、広葉樹林、作業路開設地など）

：見聞を広めるための町外研修会（これまでの研修地：雲南市、出雲市、鳥取県八頭郡智頭町他）

：総会時講演会（講師：島根県林業課、中山間地域研究センター他）

山林現地において、所有者さんから苦勞された事や、これから山をどう育てるかなどをお聞きし会員相互で意見交換をしています。

今年度は 10 月 5 日に町内現地研修会を開催しました。参加会員 11 名、研修地 2 か所①②

①横田地内・・・作業道を開設して搬出間伐を実施



②八川地内・・・所有者 2 名で山林を管理し、自分達で重機を使って作業道を開設。

作業道は 1 時間程度で所有林を一周出来るよう整備されています。



過去の現地研修地

(阿井地内山林)



(馬木地内山林)



※会員自ら作業道開設、搬出間伐を実施。

(馬木地内山林)



※森林組合が手入れを実施した会員所有林。

森林所有者の山離れを防ぎ、自らの育成技術研鑽・林業知識の向上に努め、地域林業の振興発展を目的として発足した魅山の会、色々な立場の会員が集まることにより、組合職員自身も非常に参考になることが多くあります。今後も会員の皆さんと学ぶ機会を共有し、有意義な会となるようにしたいと思います。

隠岐地区における令和元年度災害の復旧について

島根県 隠岐支庁県土整備局 農林工務部 治山・林道課

1 はじめに

隠岐諸島は、平成 25 年 9 月に世界ジオパークに認定され、隠岐の島町は、その東の島後に位置し、雄大な自然などを世界に向けて情報発信し、地域振興に取り組んでいます。

隠岐の総土地面積は 3 万 5 千 ha、うち 86% を占める森林は、地形が複雑で緩急の変化に富み 500m 級の山々が連なります。林業生産基盤である林道は、密度 7.8m/ha、県平均と比較しても整備の進んだ地域です。

令和元年 9 月 22 日、台風第 17 号による豪雨により、高さ 130 m、長さ 250 m の約 1ha の山腹崩壊が発生、下方林道南谷線に崩壊土砂が流出し通行止めとなる被害を与えました。この林道は大規模な造林地を有し、大山隠岐国立公園の観光スポットである「岩倉の乳房杉」等のアクセス道にもなっており、観光産業等への打撃が懸念されました。また、林道の下流には隠岐の島町内の水道水を供給している銚子ダムへの二次被害も懸念され、早急な復旧対策を講じる必要がありました。

2 災害復旧に向けた課題

①現地調査

山腹内には崩壊した大量の不安定土砂、崩壊頭部には巨石、湧水が確認され現地調査は困難な状況でした。

②迅速かつ安全な復旧工事

崩壊規模が広範囲かつ復旧工法が複数となり、上下作業などが発生するため、迅速かつ円滑に工事を進めるうえで、安全対策や工程など綿密な計画が必要でした。

③景観・環境への配慮

国立公園 2 種に指定されている地域のため、復旧計画を環境省と協議を行い決定する必要がありました。



写真 1 被災全景



写真 2 復旧状況

3 対策

①UAVを用いた安全かつ円滑な調査・測量

災害関連緊急治山事業の採択においては、迅速な計画書作成が求められ、安全かつ迅速に対応できる UAV 写真測量を活用し崩壊地形や不安定土砂量等の把握を行いました。また、事業採択後の詳細測量時においても、UAV レーザー測量を実施し、現地測量と比較すると、測量から図面・数量作成まで約 2 ヶ月間の短縮と直接測量費で約 30 万円のコスト縮減につながりました。

②工事の分散化、協議会の設置

工事の早期復旧を図るため、復旧工事を 4 件に分割発注し、工事量の分散化を図りました。しかし、複数の工事が競合することから、4 社による安全対策協議会を設置し、安全対策の徹底や工事の工程共有、運搬車両の調整等を行いながら工事を進めました。

③景観・環境への配慮

緑化は、周辺環境と調和した自然回復を目的とした無種子を使用、コンクリートは自然に調和する化粧型枠を使用しました。

4 おわりに

以上のように安全性と迅速性に係る課題を抽出し、対策をとることで、分割した 4 工事の適切な連携と徹底した安全管理が実現され、無事故で竣工することができました。

近年では、当箇所のような、山腹斜面等に不安定土塊が多く残存し、調査や復旧対策が困難な被災箇所が多くなってきており、迅速かつ安全な復旧対策を行ううえでも今回の経験を活かし山地災害の未然防止、減災に向けて取り組んでまいります。

治山・林道 1 年目職員を紹介

松江県土整備事務所 治山・林道課
技師 伊藤 賢一

私は現在、治山林道課に勤務し寺院裏の簡易法枠工や治山ダム、調査業務等の監督員業務、下刈、本数調整伐など森林整備工事とその調査業務などを担当しています。現在、配属されて9ヶ月が経ちますが積算や現場対応、事務など多くの仕事についてまだまだ分からないことが多く勉強の日々を過ごしています。しかし、毎日仕事をこなしていく中で、少しずつ分かることが増えていき、治山ダムを施工することの意義や森林整備を行う理由などを理解できるようになってきたため、この調子で経験を積み重ねていきたいと思っています。今後は積み重ねた経験を活かし自分から動ける職員になっていきたいと思っており目標に向け精一杯業務に取り組みたいです。



県央県土整備事務所 治山・林道課
技師 江角 要

私は現在、治山・林道課で林地荒廃防止のための治山事業や保安林機能向上のための保育事業を担当しています。配属されてすぐは初めて聞く用語ばかりで、やっていけるのか不安でいっぱいでしたが、発注や監督業務をする中で仕事の流れが徐々にわかるようになりました。



コロナの影響や請負業者とのやりとりなどにより、現場が計画通りに進まない場面もありますが、先輩方にサポートしていただいています。人との関わり方についても勉強になることがたくさんあります。

今はまだ、先輩と相手方のやりとりを聞いていることが多いですが、日々の業務の中で少しずつ知識を身につけ、自分なりの意見を持てる職員になれるよう努力したいです。

浜田県土整備事務所 治山・林道第一課
技師 齋藤 駿季

新規採用職員として治山・林道第一課に配属され、今は林道三隅線（浜田市三隅町）、林業専用道高丸山線（江津市波積町）と久畑地区治山事業（浜田市上府町）を監督員として担当させて頂いています。



土木の分野に関してはゼロからのスタートで、システムや専門用語を覚えるのが大変でしたが先輩方のサポートもあり、少しずつですが成長することができています。森林の割合が高い島根県で森林の有する多面的機能を発揮させるとともに、持続的な森林経営の実現という目標を意識しながら、業務を行いたいと考えています。これからも様々なことに挑戦していき、自分の可能性を広げることができるような職員になれるように努力していききたいと思います。

島根県知事、島根県議会への要望活動

島根県森林組合連合会、（一社）島根県森林協会、（一社）島根県木材協会、島根県林業種苗協同組合は、令和4年10月26日、以下の4項目について丸山知事、松尾副知事、西村農林水産部長、前島農林水産部技監をはじめ関係部局長へ、また9月28日には島根県議会へ要望活動を行いました。



島根県知事への要望活動



島根県議会への要望活動

<要 望 項 目>

- 1 循環型林業のさらなる成長に向けた指導と支援
 - （１） 原木生産と再造林の更なる低コスト化に向けた ICT 技術の活用も含めた技術指導と機械等の導入支援
 - （２） 効率的な原木運搬に必要な林業専用道の整備促進のため、技術的支援の継続と予算の確保
 - （３） 成長が良く材質に優れた木材生産につながる造林・コンテナ苗生産技術の確立と生産指導及び需要の拡大
 - （４） 県産木材の流通効率化と高品質木材製品の供給体制強化を進めるため、ICT 技術を活用した最新鋭の木材流通・加工施設の整備・拡充への支援
 - （５） 再造林地におけるシカ、ウサギ等の獣害被害への対策強化
- 2 県産木材の需要を拡大するために、公共建築物に限らず、木造率の低い民間建築物を含めた木造化・木質化の推進
- 3 林業・木材産業の担い手確保と体制強化に向けた、林業の魅力や森林・林業・木材産業の PR 活動の拡大及び就労条件・環境の改善、安全対策のための支援
- 4 気候変動により年々激甚化する豪雨や台風による土砂災害から県民の生命財産を守るために必要な治山事業予算の確保

令和4年度 全国治山・林道工事等コンクール

令和4年11月16日、一般社団法人日本治山治水協会、日本林道協会主催による治山・林道工事等コンクールの表彰式が海運クラブ 2階ホール（東京都）で行われ、島根県から推薦した工事等が、林野庁長官賞、一般社団法人日本治山治水協会長賞、日本林道協会長賞を受賞しました。



林野庁長官賞 竹田社長（奥右端）



日本林道協会長賞 河野社長（手前中央）

1. 第38回 民有林治山工事コンクール

- 受賞区分 林野庁長官賞
- 工事名 令和元年度 災害関連緊急治山（南谷）その4工事
- 受賞者 株式会社 竹田組 代表取締役 竹田栄人

（写真は、表紙に掲載）

2. 第23回民有林治山木材使用工事コンクール

- 受賞区分 一般社団法人日本治山治水協会長賞
- 工事名 令和2年度 海岸防災林造成事業（湊原）森林整備工事
- 受賞者 島根県出雲県土整備事務所 農林工務部 治山・林道課



3. 第38回民有林林道工事コンクール

■受賞区分 日本林道協会会長賞

■工事名 令和2年度 広域基幹林道整備事業 三隅線 第2工区その7 道路工事

■受賞者 河野建設株式会社 代表取締役 河野 千加子



4. 第45回林道維持管理コンクール

■受賞区分 日本林道協会会長賞

■路線名 七曲線

■受賞者 浜田市長 久保田 章市



5. 第23回民有林林道木材使用工事コンクール

■受賞区分 日本林道協会会長賞

■工事名 令和2年度 広域基幹林道整備事業 金城弥栄線 第3工区その14 道路工事

■受賞者 島根県益田県土整備事務所 農林工務部 治山・林道課



令和4年度市町担当職員研修会の開催状況について

一般社団法人森林協会
森林経営推進センター

I はじめに

市町村は、森林・林業行政において、主に地域の森林のビジョン策定、森林所有者に対する森林施業の指導・助言、市町村有林などの財産管理等に携わっていますが、令和元年度からは森林経営管理制度を活用した私有林の集積業務が新たに付加されるなど、市町村の取り組む業務は拡大傾向にあります。

しかしながら、市町村の担当職員は、農業や観光など他分野との兼務がほとんどであることから、担当職員に対し森林管理制度の内容に加え森林・林業に関する技術的な知識や関係する情報の提供を行うことも当センターの重要な役割となっています。

当センターでは、例年森林経営管理制度を担当する職員向けの研修会を開催していますが、今年度は、森林経営管理制度を進める上で解決すべき課題となっている「森林境界の明確化」、及び「所有者不明森林の取り扱い」を内容とする研修会を実施しましたので、その概要について報告します。

II 概要

1) 第1回 実務に活かせる空中写真やドローン画像の立体視法

日 時：令和4年7月20日（水） 13：00 から

場 所：林業会館 大研修室

講 師：中北 理 氏（農学博士）

概 要：空中写真を立体視化することにより撮影当時の現地が凹凸を含めて忠実に再現され、撮影年次の比較で経年変化を見ることができるばかりでなく立体視状態で測量も可能なことに併せ、伐採や植栽時期の違いから当時の所有者界を推定することが可能です。研修ではこの手法について学びました。



専用メガネを掛け立体視しながら研修を受ける

2) 第2回 森林経営管理制度の実務と森林環境譲与税の活用促進

日 時：令和4年10月27日（木） 13：15 から

令和4年10月28日（金） 12：00 まで

場 所：林業会館 大研修室

（1日目）

講 師：林野庁森林利用課 森林集積推進室長 福田 淳 氏

概 要：「社会資本としての森林と産業としての林業」について学び、行政としてなぜ森林整備を進めるのかを理解した上で森林環境譲与税を活用した森林・林業施策の事例研究を行い、森林・林業施策の企画・立案能力の向上に向けた研修を行いました。

講 師：邑南町産業支援課 三浦雄一郎 氏、日高直喜 氏

概 要：森林経営管理制度について、積極的な取り組みを展開されている邑南町の担当職員から制度の効率的な運用方法等について紹介いただき、今後の市町の取り組みの参考にしてもらいました。

（2日目）

講 師：林野庁森林利用課 森林集積推進室 企画係長 安藤竜介 氏

概 要：経営管理権設定等を行うに当たっての事務手続き上の留意点や、特例措置である森林所有者が不明である場合の事務手続きについて、事例研究を行いながら詳しく学びました。



講師に質問する研修生



邑南町の事例紹介

Ⅲ おわりに

森林経営推進センターでは、今回紹介しました市町村職員を対象とした研修会の開催のほか、森林経営管理制度上の各種書類の作成、今後の森林管理の進め方等の助言、森林環境譲与税を活用した独自事業の創設支援、ICTを活用した森林情報データの整備手法に関する助言や支援など、各種個別の相談にも対応しているところです。

令和5年度におきましても出来る限りの支援を行う所存ですので、是非ご相談ください。

最後に、今年度10月末現在の森林経営管理制度の活用状況を下記の表のとおり取りまとめましたので報告します。

経営管理権及び経営管理実施権の設定状況

項 目	令和2年度まで		令和3年度		令和4年度		合 計 R1～4
	市町名	面積 (ha)	市町名	面積 (ha)	市町名	面積 (ha)	
①経営管理権の設定 (所有者から市町村へ 経営管理委託)	浜田市	6	江津市	8	浜田市	1	9市町
	安来市	3	吉賀町	7	大田市	4	
	出雲市	11	松江市	1	江津市	7	
	川本町	2	浜田市	9			
	大田市	3					
	邑南町	21					
	小 計	46	小 計	25	小 計	12	83ha
②経営管理実施権の 設定 (市町村から事業体へ 再委託)	浜田市	6	川本町	2			8市町
	安来市	3	大田市	3			
			邑南町	21			
			江津市	8			
			吉賀町	7			
			松江市	1			
	小 計	9	小 計	42	小 計		51ha

表1 令和4年10月末現在の制度活用状況



主伐・搬出が進む再委託された現地

治山と林道 2022 No.127

発行 令和4年12月

編集 一般社団法人島根県森林協会

島根県松江市母衣町55番地

電話 (0852) 21-2669 FAX (0852) 21-2231

<http://shinrin@shimane.jp/>

E-mail : kyoukai@shinrin-shimane.jp

印刷 株式会社クリアプラス

